

放射光物質科学コース キックオフシンポジウム 実施報告書  
— 放射光利用による科学者・技術者としてのキャリアアップ —

日時：平成 28 年 5 月 20 日(金) 13:00~17:00

場所：筑波大学総合研究棟 B0110 公開講義室

主催：筑波大学数理物質科学研究科

共催：数理物質融合科学センター、学際物質科学研究センター

参加人数 35 名

(内訳) 一般(教職員) 16 名

学生 19 名

数理物質科学研究科で分野横断的に新設される大学院教育コース「放射光物質科学コース」のキックオフとして、TIMS、CiRfSE 共催で、シンポジウムを開催した。このコースでは国内外の放射光施設利用が視野に含まれており、TIMS の国際連携とも密接につながるものである。教員 5 名のほか、外部組織より 5 名の専門家を招き放射光利用についての最新の講演を行った。また、多数の学生が積極的に参加し大変活発なシンポジウムとなった。

(プログラム)

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:00~13:10 | 伊藤雅英 (数理物質系長)<br>「数理物質科学研究科の教育」                                   |
| 13:10~13:20 | 守友 浩 (筑波大学数理物質系 物理学域 教授)<br>「放射光物質科学コースの説明」                       |
| 13:20~13:40 | 木村 滋 (JASRI利用研究促進部門副部門長)<br>「SPring-8施設と大学院生提案型課題の説明」             |
| 13:40~14:00 | 熊井玲児 (KEK物質構造科学研究所 教授)<br>「フォトンファクトリーの施設説明」                       |
| 14:00~14:10 | 坂田修身 (物質・材料研究機構 高輝度放射光ステーション長)<br>「NIMS高輝度放射光ステーションの説明」           |
| 14:10~14:20 | Break   |
| 14:20~14:40 | 西堀英治 (筑波大学数理物質系 物理学域 教授)<br>「海外教育研究ユニット招致による国際共同研究と将来構想」          |
| 14:40~15:00 | 長谷宗明 (筑波大学数理物質系 物理工学域 准教授)<br>「X線自由電子レーザーSACLAを用いた超高速時間分解X線回折 測定」 |
| 15:00~15:20 | 櫻井岳暁 (筑波大学数理物質系 物理工学域 准教授)<br>「有機薄膜太陽電池の放射光解析：電子構造・ダイナミクス」        |
| 15:20~15:40 | 近藤剛弘 (筑波大学数理物質系 物質工学域 准教授)<br>「窒素ドーピングがもたらす炭素材料の特異な電子状態と触媒機能」     |

15 : 40~16 : 00

Break

16 : 00~16 : 40

岸本浩通（住友ゴム工業株式会社 材料開発本部 分析センター 課長）  
「放射光X線を応用した次世代タイヤ材料開発」

16 : 40~17 : 00

寿栄松宏仁（東京大学名誉教授）  
「放射光科学における筑波大学の役割と期待」



伊藤雅英 数理物質系長



鈴木博章 数理物質研究科長



筑波大学 守友 浩



JASRI 木村 滋



KEK 熊井玲児



NIMS 坂田修身



筑波大学 西堀英治



筑波大学 長谷宗明



筑波大学 櫻井岳暁



筑波大学 近藤剛弘



住友ゴム工業 岸本浩通



東大名譽教授 寿栄松宏仁